

声をあげよう！ 仲間を広げよう！ 人間らしく働く権利の確立をめざして！

# パート・非常勤部会ニュース No. 18

大阪市北区錦町2-2 国国会館1F 大阪労連パート・非常勤部会 2008・10・14

—— 非正規雇用労働者全国センター主催 第1回シンポジウム開催 ——

## 「雇用破壊」からディーセント・ワーク実現への道筋を探る



10月4日(土)午前11時から中央大学駿河台記念館で全労連非正規雇用者全国センター主催の第1回シンポジウムが開催され、全国から101人が参加をしました。『雇用破壊』からディーセント・ワーク実現への道筋を探る』という討論内容で、東洋経済記者の風間直樹さんが「雇用破壊の流れを転換するための提言」について、元ILO東京支局長・文京大学教授の堀内光子さんが「ILOの取り組みと労働運動に望むこと」について、それぞれシンポジストとして発言しました。

### 風間直樹さん

- 求人広告には月33万円で募集(青森)、しかしこの額は土曜、日曜なしでフルに働き、残業しての金額。実際には月13万円で日給月給制、一時金・退職金はなし。「辞めたい」と思っても住まいがない。アパート探すにもお金が貯められない。保証人もいない。辞められない。派遣や請負の話はもう終わった話という風潮が少し出ているが、状況は2年前も今も変わらない。
- 問題にしなければいけないのは、派遣や請負労働など非正規労働が適法かどうかではなく、社会正義に照らしてどうなのかということ。
- 悪いのはグッドウィルだけ、悪いのは日雇い派遣だけなのか。3ヶ月の有期契約は問題ないのか。「登録型派遣そのものがどうなのか」が問題。
- 奥谷礼子という使用者は「過労死が自己責任」と発言してバッシングを受けたが、同じ内容のことを有識者(学者)が言っても黙認されている。諮問会議をチェックすることが必要。規制改革会議の内容がそのまま国の対策になっている。
- 企業のCSR(社会的責任)を環境だけではなく、労働の問題についても追求していく必要がある。

### 堀内光子さん

- 今、日本でおきていることは世界中でおきている。グローバル経済化が進展・深化し、金融資本が大きくなっている。国際社会はビジネスが拡大しているが雇用は拡大していない。経済は成長しているが雇用は増えていない。経済発展をすべての人が等しく受けていない。1日2ドル未満で暮らすワーキングプアは世界で44%に達する。経済は自由化し、国内で規制できる部分が低

下。経済政策は効率重視。これに対し労働者の権利・実態は国内にとどまっている。グローバル経済化を公平なグローバル化に変更する必要があるとして、ILOはディーセント・ワーク(到達可能な人間らしい働きがいのある仕事)を提唱した。

○ ディーセント・ワークとは ①仕事があること ②権利 ③保護 ④労使の対話が確保されること  
そして、そのすべてに男女平等が貫かれている。

○ ILOの価値・原則

①平和は社会正義の確立(1919年ILO憲章)

②「労働は商品ではない」(1944年フィラデルフィア宣言)

○ 1999年ダボスの経済会議で、国連グローバル・コンパクト10原則を確立(主に多国籍企業向け)

人権

・企業はその影響の及ぶ範囲で国際的に宣言されている人権の擁護を支持し、尊重する。  
・人権侵害に加担しない。

労働

・組合結成の自由と団体交渉権を実効あるものにする。  
・あらゆる種類の強制労働を排除する。  
・児童労働を実効的に廃止する。  
・雇用と職業に関する差別を排除する。

環境

・環境問題の予防的なアプローチを支持する。  
・環境に対して一層の責任を担うためのイニシアチブをとる。  
・環境を守るための技術の開発と普及を促進する。

腐敗防止

・強要と賄賂を含むあらゆる腐敗を防止するために取り組む。

○ 日本は権利が実現できていない。日本の権利水準は低い。今ある労働法をしっかりと使おう。

○ 男女平等が実現できれば非正規問題の多くが改善する。非正規の大部分は女性。日本の女性の地位は54位。EUは男女差15%、これが大きいとして運動している。日本の女性は男性の3分の2。

○ 生活者と労働者の双方の視点から総合的なアプローチをする

○ 企業や組織は誰のものか! 株主だけのものではない。労働者も含めたもの。

## パート・臨時労組連絡会 第8回 総会を開催



10月4日(土)、午後1時から中央大学駿河台記念館で、パート・臨時労組連絡会第8回総会が開催されました。8単産・29地域から75人が参加をしました。大阪からは嘉満さんが発言。パートのつどい、最低賃金闘争、橋下維新プログラム案による府高教臨時職員の雇い止め問題などを報告し、労働局との交渉で「最低賃金が19円に引き上げられ倒産した企業があるのか」と聞いたら「因果関係は聞いたことがない」と答えたと言うと、会場はざわめきました。静岡、埼玉、神奈川県、東京、兵庫、愛知、宮城、広島、京都、岩手、青森、自治労連、生協労連、全教、郵産労から、08パート春闘、各地域のつどい、最賃闘争、組織拡大などについて発言があり、井筒事務局長は「勝ち取ったものを生かそう! 正規・非正規ともお互いが受け入れる! 社会に向けて一歩踏み出す! 組合内に留まらない運動! 地域は非正規の宝庫!」とまとめました。